

平成26年度（上半期）

# 丹羽広域事務組合水道事業報告書

自 平成26年 4月 1日

至 平成26年 9月30日

# 目 次

1	経理の状況		
	(1) 予算執行の状況	-----	1
	(2) 損益計算書	-----	2
	(3) 貸借対照表	-----	3
2	事業の概況		
	(1) 営業について	-----	5
	(2) 改良工事について	-----	5
	(3) 主な請負契約工事の内容	-----	6
3	業務		
	(1) 事業収入に関する事項	-----	8
	(2) 事業費用に関する事項	-----	8
	(3) 料金の状況	-----	9
	(4) 有収水量の状況	-----	9
	(5) 配水量の状況	-----	9
	(6) 給水負担金の状況	-----	9
	(7) 検針・徴収の状況	-----	9
4	会計		
	(1) 重要契約の要旨	-----	10
5	平成25年度決算状況		
	(1) 総括事項	-----	11
	(総括)	-----	11
	(経理の状況)	-----	11
	(改良工事)	-----	11
	(業務)	-----	11
	(2) 予算に対する決算状況	-----	12
	(3) 損益計算書	-----	12
	(4) 貸借対照表	-----	13

## 平成26年度水道事業会計（上半期）

### 1 経理の状況

#### (1) 予算執行の状況

##### ア 収益的収入及び支出

(収 入)

(単位：千円)

科 目	予 算 額	収 入 額	比率(%)	備 考
第1款 事業収益	979,219	474,164	48.42	(うち仮受消費税) 26,182
第1項 営業収益	895,045	433,328	48.41	(  "  ) 26,180
第2項 営業外収益	80,316	39,358	49.00	(  "  ) 2
第3項 特別利益	3,858	1,478	38.31	

※営業外収益中、長期前受金戻入については、年間予算額の2分の1を計上しました。

(支 出)

(単位：千円)

科 目	予 算 額	支 出 額	比率(%)	備 考
第1款 事業費用	940,079	378,091	40.22	(うち仮払消費税) 14,303
第1項 営業費用	900,895	364,165	40.42	(  "  ) 14,301
第2項 営業外費用	24,683	633	2.56	
第3項 特別損失	13,421	13,293	99.05	(うち仮払消費税) 2
第4項 予備費	1,080	0	-	

※営業費用中、減価償却費については、年間予算額の2分の1を計上しました。

##### イ 資本的収入及び支出

(収 入)

(単位：千円)

科 目	予 算 額	収 入 額	比率(%)	備 考
第1款 資本的収入	219,210	52,910	24.14	(うち仮受消費税) 2,047
第1項 企業債	80,000	0	-	
第2項 工事負担金	137,192	50,871	37.08	(うち仮受消費税) 2,044
第3項 固定資産売却代金	2,018	2,039	101.04	(  "  ) 3

(支 出)

(単位：千円)

科 目	予 算 額	支 出 額	比率(%)	備 考
第1款 資本的支出	309,726	54,822	17.70	(うち仮払消費税) 2,776
第1項 建設改良費	309,726	54,822	17.70	(  "  ) 2,776

## (2) 損益計算書 (税抜処理)

上半期分 (平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(単位:円)

1 営業収益			
(1) 給水収益	398,303,322		
(2) その他営業収益	8,845,109	407,148,431	
2 営業費用			
(1) 配水及び給水費	237,465,964		
(2) 総係費	9,230,182		
(3) 減価償却費	103,167,500	349,863,646	
営業利益			57,284,785
3 営業外収益			
(1) 受取利息及び配当金	93,082		
(2) 長期前受金戻入	36,850,000		
(3) 雑収益	2,412,325	39,355,407	
4 営業外費用			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	632,876	632,876	38,722,531
経常利益			96,007,316
5 特別利益			
(1) 固定資産売却益	1,478,050	1,478,050	1,478,050
6 特別損失			
(1) 過年度損益修正損	34,349		
(2) その他特別損失	13,257,466	13,291,815	△ 13,291,815
当年度純利益			84,193,551
前年度繰越利益剰余金			74,361,659
その他未処分利益剰余金変動額			1,330,029,844
当年度未処分利益剰余金			1,488,585,054

※減価償却費については、年間予算額の2分の1を計上しました。

※長期前受金戻入については、年間予算額の2分の1を計上しました。

## (3) 貸借対照表 (平成26年9月30日現在)

## 資産の部

(単位：円)

1 固定資産				
(1) 有形固定資産				
ア 土地		114,391,274		
イ 建物	9,925,450			
減価償却累計額	△ 3,564,482	6,360,968		
ウ 構築物	9,280,859,414			
減価償却累計額	△ 4,438,844,736	4,842,014,678		
エ 機械及び装置	265,041,790			
減価償却累計額	△ 202,143,526	62,898,264		
オ 車両運搬具	12,114,885			
減価償却累計額	△ 6,907,836	5,207,049		
カ 工具器具及び備品	5,909,997			
減価償却累計額	△ 3,716,851	2,193,146		
有形固定資産合計			5,033,065,379	
(2) 無形固定資産				
ア 施設利用権		2,582,030		
イ 電話加入権		1,265,400		
無形固定資産合計			3,847,430	
固定資産合計				5,036,912,809
2 流動資産				
(1) 現金預金			679,489,989	
(2) 未収金		8,996,029		
貸倒引当金		△ 1,415,440	7,580,589	
(3) 貯蔵品			944,540	
(4) 仮払金			11,757	
(5) 仮払消費税			17,443,615	
流動資産合計				705,470,490
資産合計				5,742,383,299

## 負債の部

(単位：円)

3 固定負債				
(1) 企業債			100,000,000	
(2) 引当金				
ア 退職給付引当金		5,440,662		
引当金合計			5,440,662	
固定負債合計				105,440,662
4 流動負債				
(1) 未払金			2,386,908	
(2) 前受金			1,939,520	
(3) 預り金			28,756,524	
(4) 仮受消費税			28,228,987	
流動負債合計				61,311,939
5 繰延収益				
ア 国庫補助金長期前受金		3,076,667		
収益化累計額		△ 839,746	2,236,921	
イ 県費補助金長期前受金		71,725,661		
収益化累計額		△ 49,784,427	21,941,234	
ウ 工事負担金長期前受金		3,216,242,685		
収益化累計額		△ 1,314,214,644	1,902,028,041	
エ 受贈財産評価額長期前受金		41,886,125		
収益化累計額		△ 2,041,027	39,845,098	
繰延収益合計				1,966,051,294
負債合計				2,132,803,895

## 資本の部

(単位：円)

6 資本金				
(1) 自己資本金				
ア 固有資本金		17,800,646		
イ 出資金		747,568,613		
ウ 組入資本金		1,042,209,868		
自己資本金合計			1,807,579,127	
資本金合計				1,807,579,127
7 剰余金				
(1) 資本剰余金				
ア 工事負担金		95,068,288		
資本剰余金合計			95,068,288	
(2) 利益剰余金				
ア 利益積立金		23,346,935		
イ 建設改良積立金		195,000,000		
ウ 当年度未処分利益剰余金		1,488,585,054		
利益剰余金合計			1,706,931,989	
剰余金合計				1,802,000,277
資本合計				3,609,579,404
負債資本合計				5,742,383,299

## 2 事業の概況

### (1) 営業について

平成26年度上半期（平成26年4月～平成26年9月）における有収水量は301万6千 $\text{m}^3$ で、前年度と比較し、5千 $\text{m}^3$ の減で99.8%となりました。

収益的収支の収入は、事業収益が予算額9億7,921万9千円に対して4億7,416万4千円で48.4%の収入率となり、このうち水道料金収入は4億2,448万3千円で、口座振替加入率が86.2%となっています。

支出では、事業費用として予算額9億4,007万9千円に対し、執行額は3億7,809万1千円で40.2%の執行率となっています。

資本的収支は、収入5,291万円に対し支出は5,482万2千円となっています。

次に業務状況は、給水業務については、新規給水申込は144件あり、前年同期の件数と比較しますと60件の減となりました。

下半期についても一層の経費節減に心掛け、健全経営に努めてまいります。

区 分	単 位	平成25年度上半期	平成26年度上半期	増減（△減）
給 水 戸 数	戸	21,362	22,148	786
給 水 人 口	人	57,058	57,380	322
配 水 量	総 配 水 量	$\text{m}^3$ 3,567,661	$\text{m}^3$ 3,402,815	△ 164,846
	一日最大配水量	$\text{m}^3$ 21,730	$\text{m}^3$ 20,385	△ 1,345
	一日平均配水量	$\text{m}^3$ 19,389	$\text{m}^3$ 18,494	△ 895
有 収 水 量	$\text{m}^3$	3,020,694	3,015,745	△ 4,949

### (2) 改良工事について

今年度といたしましては、事務室等改修で432万円、施設改良関係で6,244万5千円、配水管整備関係では水圧水質改善及び有収率向上を目的にした布設替工事等で1億4,459万円、合わせて2億1,135万6千円を予算計上しています。

上半期の発注状況としましては、施設改良関係及び配水管整備関係合わせて9,858万4千円を発注し、執行率は46.6%になっています。

(3) 主な請負契約工事の内容

①建設改良工事等

工 事 名	工 事 内 容	契約金額 (円)	契 約 年 月 日	請 負 業 者
上小口一丁目地内 配水管布設替工事	PEP φ 25他 L= 21.320m	270,000	26. 4. 23	丸周建設(株)
河北二丁目地内 配水管布設替工事その2	HPPEP φ 50他 L= 158.140m	3,844,800	26. 4. 28	(有)マルイチ吉田水道
河北二丁目地内 配水管布設替工事	HPPEP φ 50他 L= 286.920m	6,739,200	26. 5. 2	(有)吉田設備
河北二丁目地内 配水・導水管布設替工事	HPPEP φ 100他 L= 308.186m	9,126,000	26. 5. 2	(有)マルイチ吉田水道
丹羽広域事務組合水道部 事務室等改修工事	OAフロア敷設他	3,672,000	26. 5. 20	藤田電機工業(株)
柏森字平塚地内 配水管布設替工事	HPPEP φ 75他 L= 85.195m	2,376,000	26. 5. 26	吉永建設工業(株)
南山名字寺前地内 配水管布設替工事	HPPEP φ 50他 L= 40.280m	1,965,600	26. 5. 26	(有)大竹水道工事店
上小口二丁目地内 推進工事他設計業務	推進工事設計他	10,476,000	26. 6. 5	中日本建設 コンサルタント(株)
高雄字福塚地内 配水管布設替工事	HPPEP φ 75他 L= 49.890m	3,704,400	26. 6. 18	吉永建設工業(株)
南山名字別レ塚地内 配水管布設替工事	HPPEP φ 50他 L= 54.160m	1,166,400	26. 7. 7	永光建設(株)
高雄字福塚地内 配水管布設替工事その2	HPPEP φ 100他 L= 56.620m	3,240,000	26. 8. 5	丸周建設(株)
大口北部水源改良工事 施工監理業務 (継続事業)	施工監理業務・建築 確認申請	4,415,000 (11,124,000)	26. 8. 11	中日本建設 コンサルタント(株)
大口北部水源 機械電気設備工事 (継続事業)	機械設備・電気設備・ 配管布設	12,122,000 (113,400,000)	26. 8. 18	藤田電機工業(株)
替地二丁目地内 添架管布設替工事	HPPEP φ 100他 L= 22.150m	3,024,000	26. 8. 19	(有)新栄設備
斎藤字旭地内 配水管布設替工事	HPPEP φ 50他 L= 170.490m	3,823,200	26. 8. 26	永光建設(株)
大口北部水源築造工事 (継続事業)	沈砂池・ポンプ室の 築造他	28,620,000 (62,532,000)	26. 9. 17	丸周建設(株)
合 計	L= 1,253.351m	98,584,600		

※ ( )内は継続事業全体の金額

②配水管新設工事

工 事 名	工 事 内 容	契約金額(円)	契 約 年 月 日	請 負 業 者
御供所二丁目地内 配水管新設工事No.407	HPPEP φ 50 L= 32.700m	1,058,400	26. 4. 25	(有)新栄設備
大屋敷二丁目地内 配水管新設工事No.3	HPPEP φ 50 L= 117.730m	2,926,800	26. 4. 28	(有)マルイチ吉田水道
奈良子一丁目地内 配水管新設工事No.406	HPPEP φ 50他 L= 17.842m	529,200	26. 4. 28	(株)ヤジマ
高雄字郷東地内 配水管新設工事No.5	HPPEP φ 50 L= 44.450m	1,015,200	26. 5. 8	永光建設(株)
竹田二丁目地内 配水管新設工事No.368他	HPPEP φ 50他 L= 20.550m	777,600	26. 5. 8	熊沢建設(株)
高雄字伊勢埴地内 配水管新設工事No.20	HPPEP φ 50 L= 22.500m	534,600	26. 5. 16	吉永建設工業(株)
余野六丁目地内 配水管新設工事No.394他	HPPEP φ 75他 L= 39.190m	2,019,600	26. 5. 20	山本設備
河北二丁目地内 配水管新設工事No.他24	HPPEP φ 50 L= 29.900m	534,600	26. 6. 5	(有)吉田設備
柏森字乙西屋敷地内 配水管新設工事No.37	PEP φ 25 L= 29.700m	347,760	26. 6. 16	(株)ジェーケー・サービス
外坪一丁目地内 配水管新設工事No.27	HPPEP φ 50他 L= 48.781m	1,512,000	26. 6. 18	(有)吉田設備
外坪五丁目地内 配水管新設工事No.54	HPPEP φ 50他 L= 22.710m	658,800	26. 7. 1	(有)マルイチ吉田水道
柏森字辻田地内 配水管新設工事No.60他	HPPEP φ 50 L= 26.750m	853,200	26. 7. 15	吉永建設工業(株)
斎藤字北山地内 配水管新設工事No.81	HPPEP φ 50 L= 34.700m	907,200	26. 8. 12	永光建設(株)
斎藤字榎地内 配水管新設工事No.111	HPPEP φ 50 L= 19.457m	572,400	26. 8. 29	(株)ジェーケー・サービス
合 計	L= 506.960m	14,247,360		

### 3 業務

#### (1) 事業収入に関する事項

(単位：千円)

事 項	25年度上半期	26年度上半期	比 較		備 考 (消費税込金額)
			増減(△減)	比率 (%)	
営業収益	407,318	407,148	△ 170	99.96	433,328
給 水 収 益	398,994	398,303	△ 691	99.83	424,483
受 託 工 事 収 益	119	0	△ 119	皆減	0
そ の 他 営 業 収 益	8,205	8,845	640	107.80	8,845
営業外収益	3,544	39,356	35,812	1,110.50	39,358
受取利息及び配当金	94	93	△ 1	98.94	93
長 期 前 受 金 戻 入	-	36,850	36,850	皆増	36,850
雑 収 益	3,450	2,413	△ 1,037	69.94	2,415
特別利益	-	1,478	1,478	皆増	1,478
固 定 資 産 売 却 益	-	1,478	1,478	皆増	1,478
計	410,862	447,982	37,120	109.03	474,164

※長期前受金戻入については、年間予算額の2分の1を計上しました。

(供給単価)

25年度上半期	給水収益	398,994	千円	=	132.07	円
	有収水量	3,021	千m <sup>3</sup>			
26年度上半期	給水収益	398,303	千円	=	132.11	円
	有収水量	3,015	千m <sup>3</sup>			

#### (2) 事業費用に関する事項

(単位：千円)

事 項	25年度上半期	26年度上半期	比 較		備 考 (消費税込金額)
			増減(△減)	比率 (%)	
営業費用	328,156	349,864	21,708	106.62	364,165
配 水 及 び 給 水 費	227,059	237,466	10,407	104.58	251,521
受 託 工 事 費	111	0	△ 111	皆減	0
総 係 費	8,049	9,230	1,181	114.67	9,476
減 価 償 却 費	92,937	103,168	10,231	111.01	103,168
営業外費用	-	633	633	皆増	633
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	-	633	633	皆増	633
特別損失	104	13,291	13,187	12,779.81	13,293
過 年 度 損 益 修 正 損	104	34	△ 70	32.69	36
そ の 他 特 別 損 失	-	13,257	13,257	皆増	13,257
計	328,260	363,788	35,528	110.82	378,091

※減価償却費については、年間予算額の2分の1を計上しました。

(給水原価)

25年度上半期	総費用	328,260	千円	- (受託工事費	111	千円	+ 特別損失	104	千円)	=	108.59	円
	有収水量	3,021	千m <sup>3</sup>									
26年度上半期	総費用	363,788	千円	- (受託工事費	0	千円	+ 特別損失	13,291	千円)	=	116.25	円
	有収水量	3,015	千m <sup>3</sup>									

## (3) 料金の状況

(単位 千円)

年・率		月						合計
		4	5	6	7	8	9	
25年度上半期		63,393	67,201	64,046	75,630	71,124	77,516	418,910
26年度上半期		66,405	67,352	64,093	76,030	72,587	78,016	424,483
比較	増減(△減)	3,012	151	47	400	1,463	500	5,573
	比率(%)	104.8	100.2	100.1	100.5	102.1	100.6	101.3

## (4) 有収水量の状況

(単位：m<sup>3</sup>)

年・率		月						合計
		4	5	6	7	8	9	
25年度上半期		424,656	529,591	431,930	578,944	466,831	588,742	3,020,694
26年度上半期		440,182	529,488	430,594	571,458	464,061	579,962	3,015,745
比較	増減(△減)	15,526	△ 103	△ 1,336	△ 7,486	△ 2,770	△ 8,780	△ 4,949
	比率(%)	103.7	100.0	99.7	98.7	99.4	98.5	99.8

## (5) 配水量の状況

(単位：m<sup>3</sup>)

年・率		月						合計
		4	5	6	7	8	9	
25年度上半期		571,308	560,835	602,032	594,481	624,479	614,526	3,567,661
26年度上半期		566,056	536,173	578,095	565,978	584,162	572,351	3,402,815
比較	増減(△減)	△ 5,252	△ 24,662	△ 23,937	△ 28,503	△ 40,317	△ 42,175	△ 164,846
	比率(%)	99.1	95.6	96.0	95.2	93.5	93.1	95.4

## (6) 給水負担金の状況

項目	年度	25年度上半期	26年度上半期	比較	
				増減(△減)	比率(%)
加入件数(件)		204	144	△ 60	70.59
給水負担金(円)		21,876,750	19,137,150	△ 2,739,600	87.48

## (7) 検針・徴収の状況

## イ 検針

区分	延件数			2か月平均	
	25年度上半期	26年度上半期	増減(△減)	25年度上半期	26年度上半期
総検針件数	62,649	63,662	1,013	20,883	21,221

## ロ 徴収

区分	延件数			2か月平均		
	25年度上半期	26年度上半期	増減(△減)	25年度上半期	26年度上半期	
総徴收件数	63,531	64,419	888	21,177	21,473	
内訳	銀行納付	2,359	2,282	△ 77	786	761
	コンビニ納付	8,007	8,073	66	2,669	2,691
	口座振替	52,991	53,846	855	17,664	17,949
	窓口納付	174	218	44	58	72

#### 4 会計

##### (1) 重要契約の要旨

内容については、「2 事業の概要」中「(3) 主な請負契約工事の内容」と同一のため省略。

## 5 平成25年度決算状況

### (1) 総括事項

#### (総括)

水道を取り巻く環境は、ここ10年間で刻々と変化し、東海、東南海、南海地震の発生が高い確率で懸念される中、震災対策、危機管理対策を講じることが喫緊に求められています。そこで、3年前の「東日本大震災の経験」を教訓に、病院や広域避難場所等、社会基盤に影響を及ぼす場所への配水管・水源施設等の耐震化に努めてきました。そうした耐震化や老朽化施設の更新には、これからも多額の費用が必要となります。

しかし、大口需要家を始めとする水道利用者は、省エネ対策や節水などコスト削減に取り組み、一般家庭でも節水機器の普及などにより水需要が伸び悩んでいるのが現状です。このような状況が続けば収益の減少にもつながっていきます。料金収入の減少は、今後の施設等の更新に支障をきたす事も考えられます。

このような状況を踏まえ、様々な検証をもとに事業全般の効率化を図り、財政の健全化を堅持し、健全な運営を継続していく所存です。

#### (経理の状況)

25年度の給水収益は、ほぼ当初の予算通りとなりました。支出においては、経費の節減に努めた結果、当年度純利益は5,325万円となりました。詳細については、収益的収支（消費税相当額抜）において、営業収益8億4,527万7千円に対し、営業費用は7億9,775万5千円であり、差引き4,752万2千円の営業利益となりました。また、営業外収益は809万7千円に対し、営業外費用は267万4千円で、プラス542万3千円となり、これに前述の営業利益を加算しますと、5,294万5千円の経常利益となりました。更に特別利益77万3千円に対し、特別損失は46万8千円であり、30万5千円の利益を加算しますと、前述したように、当年度の純利益は5,325万円となりました。

次に、資本的収支（消費税込）におきましては、2億7,665万3千円の収入に対し、支出は4億8,520万5千円であり差引き2億855万2千円の支出超過となりました。この支出超過は、過年度分損益勘定留保資金1億9,352万8千円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,502万4千円で補てんしました。

#### (改良工事)

25年度の事業としましては、水道整備実施計画（第3次）に基づく施設改良として、斉藤水源改良工事を施工し、配管整備関係では、大口需要家の多い大口南部水源給水区域の十分なバックアップを確保するため伝右二丁目から御供所三丁目までの配水幹線の整備や重要施設への配水管を耐震管に布設替するなど、施設と管路の耐震化に取り組みました。このほか、水圧水質改善及び民地内配管の移設工事等を行いました。

#### (業務)

25年度末の給水件数は21,342件、有収水量は6,090,604<sup>m</sup><sup>3</sup>、有収率は88.00%です。

新規加入、移動、臨時、口径変更等の給水申込みは、合計643件となり、その他として量水器及び止水栓取替工事をあわせて2,688件行いました。

検針、徴収業務については、18名の検針委託人と職員で処理しました。なお、徴収業務のうち年度末における口座振替件数は18,392件となり、加入率は86.2%となっています。

## (2) 予算に対する決算状況

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算に対する割合(%)
事業収益	903,227,000	894,470,579	99.03
事業費用	842,456,000	825,974,988	98.04
資本的収入	288,786,000	276,653,225	95.80
資本的支出	508,511,000	485,205,629	95.42

## (3) 損益計算書 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

## 1 営業収益

(単位：円)

(1) 給 水 収 益	806,790,352		
(2) 受 託 工 事 収 益	467,790		
(3) そ の 他 営 業 収 益	38,019,418	845,277,560	

## 2 営業費用

(1) 配 水 及 び 給 水 費	565,129,721		
(2) 受 託 工 事 費	437,200		
(3) 総 係 費	14,816,569		
(4) 減 価 償 却 費	182,136,257		
(5) 資 産 減 耗 費	35,235,564	797,755,311	
営 業 利 益			47,522,249

## 3 営業外収益

(1) 受取利息及び配当金	156,314		
(2) 他会計負担金	2,260,000		
(3) 雑 収 益	5,680,976	8,097,290	

## 4 営業外費用

(1) 雑 支 出	2,673,646	2,673,646	5,423,644
経 常 利 益			52,945,893

## 5 特別利益

(1) 過年度損益修正益	772,723	772,723	
--------------	---------	---------	--

## 6 特別損失

(1) 過年度損益修正損	468,345	468,345	304,378
--------------	---------	---------	---------

当年度純利益			53,250,271
前年度繰越利益剰余金			21,111,388
当年度未処分利益剰余金			74,361,659

## (4) 貸借対照表 (平成26年3月31日現在)

(単位：円)

		資	産	の	部
1 固定資産					
(1) 有形固定資産					
ア	土				116,383,224
イ	建		9,925,450		
	減価償却累計額		△ 3,416,234		6,509,216
ウ	構		9,233,213,448		
	減価償却累計額		△ 4,338,409,067		4,894,804,381
エ	機		263,661,200		
	減価償却累計額		△ 200,321,034		63,340,166
オ	車		12,177,165		
	減価償却累計額		△ 7,160,593		5,016,572
カ	工		5,909,997		
	減価償却累計額		△ 3,537,578		2,372,419
	有形固定資産合計				5,088,425,978
(2) 無形固定資産					
ア	施				378,900
イ	電				1,265,400
	無形固定資産合計				1,644,300
	固定資産合計				5,090,070,278
2 流動資産					
(1)	現				556,857,881
(2)	未				41,713,069
(3)	貯				2,367,900
(4)	前				228,700
	流動資産合計				601,167,550
	資産合計				5,691,237,828

負 債 の 部

3 流動負債

(1) 未 払 金		81,961,416	
(2) 前 受 金		2,097,580	
(3) 預 り 金		13,520,915	
(4) 預 り 保 証 金		14,198,000	
流動負債合計			111,777,911
負債合計			111,777,911

資 本 の 部

4 資本金

(1) 自己資本金			
ア 固 有 資 本 金	17,800,646		
イ 出 資 金	747,568,613		
ウ 組 入 資 本 金	1,042,209,868		
自己資本金合計		1,807,579,127	
(2) 借入資本金			
ア 企 業 債	100,000,000		
借入資本金合計		100,000,000	
資本金合計			1,907,579,127

5 剰余金

(1) 資本剰余金			
ア 給 水 負 担 金	1,262,590,500		
イ 負 担 金	917,555,610		
ウ 新 設 工 事 分 担 金	1,082,337,633		
エ 補 助 金	74,802,328		
オ 受 贈 財 産 評 価 額	41,886,125		
資本剰余金合計		3,379,172,196	
(2) 利益剰余金			
ア 利 益 積 立 金	23,346,935		
イ 建 設 改 良 積 立 金	195,000,000		
ウ 当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	74,361,659		
利益剰余金合計		292,708,594	
剰余金合計			3,671,880,790
資本合計			5,579,459,917
負債資本合計			5,691,237,828